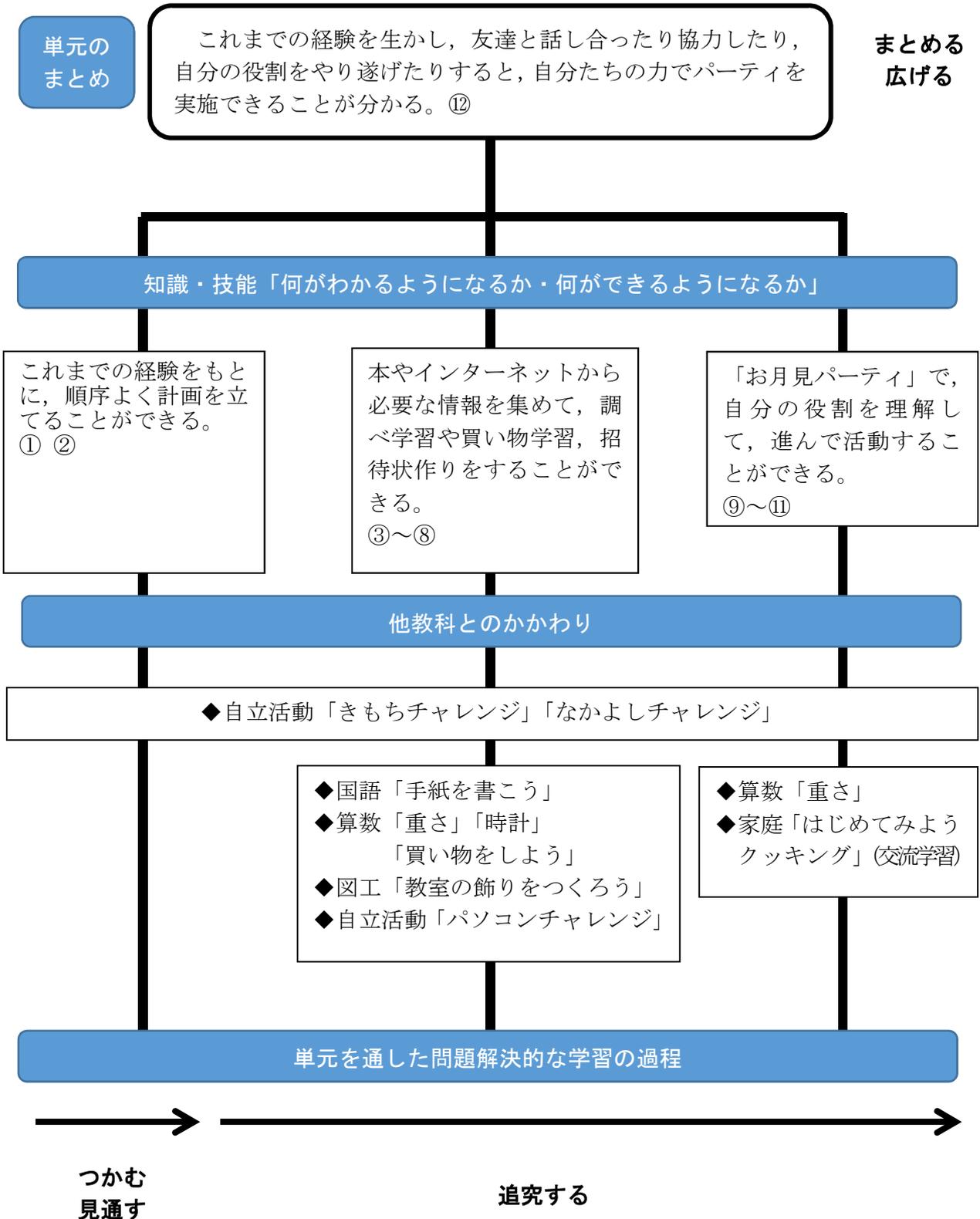


くりの木 (知的)	生活単元学習	単元名	児童	場所	指導者
		「お月見パーティをしよう」	5年2名 6年4名	くりの木 学級教室	近田 歩実 中枝 千春

**1 単元について**

**単元マップ**



## 本単元で育てたい資質・能力

○これまでの経験を生かし、「お月見パーティ」を通して、相手と関わりながら、自分で判断して行動することができる。(主体性)

## 単元・題材について

生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。

本単元では、児童一人一人の役割を明確にすることで、主体的に活動に取り組む機会を設定していく。季節に関わる行事である「お月見」と関連させて、パーティの計画・準備を進めていく中で、自分で判断したり行動したりする力を育てることを学習のねらいとしている。周囲と関わりながら、見通しをもつこと、目的に合う買い物ができること、情報を集めて活用すること、周囲とのコミュニケーションを図ることなどの活動に取り組むことで、自立に必要な技能を身に付けることができるようにする。

また、集団の中で見通しをもって、協力して活動に取り組むことを目指すとともに、児童の実態に合わせ、国語や算数、自立活動などの他教科とも関連を図りながら単元を構成していく。

## 児童の実態

本学級の児童は、これまでに、「お誕生会」の活動を通して、飾り付けや調理、買い物や司会などの経験をしてきている。「お誕生会」に対する関心や意欲も高く、積極的に学習に取り組む。しかし、活動にあたっては、教師の指示や支援の中で行ってきたことが多く、主体的な活動には至っていない。少人数での話し合い活動では、周囲の意見に流されてしまったり、自分の意見を押し通そうとしたりする様子が見られたが、徐々に意見をまとめる力が付いてきている。

A児 (5年)	<ul style="list-style-type: none"><li>・物事に対して自分の考えをもつことができるが、積極的に発言したり、自分から行動に移したりすることが苦手である。</li><li>・自分で見通しをもち、時間内で活動することが難しい。</li><li>・パソコンや本を使って、自分に必要な情報について調べることができるが、内容を自分の言葉で相手に伝えることが苦手である。</li></ul>
B児 (5年)	<ul style="list-style-type: none"><li>・物事に対して自分の考えをもつことができるが、自分の意見を押し通そうとすることが多く、気分が乗らないことには取り組まないことがある。</li><li>・その時の感情に左右されやすく、言葉や行動が乱暴になり、話し合いが困難になるときがある。</li><li>・予定や時間を目安に活動することが難しい。</li><li>・パソコンや本を使って、自分に必要な情報を見付けることができるが、メモに残したりまとめたりすることが苦手である。</li></ul>
C児 (6年)	<ul style="list-style-type: none"><li>・学級の話合いで、自分の考えをもつことが苦手である。自分から意見を言ったり、一人で活動したりすることが難しい。</li><li>・時計を見て、何時間前・後の計算をすることができなく、見通しをもって活動することが苦手である。</li><li>・パソコンや本を使って、自分に必要な情報を見付け、メモすることができる。</li></ul>
D児 (6年)	<ul style="list-style-type: none"><li>・理由や根拠をもって自分の考えをもつことができるが、相手の意見を素直に聞き入れられないことや話の中心がずれてしまうことがある。</li><li>・自分で見通しをもち、時間内に活動することが難しい。</li><li>・パソコンや本を使って、自分に必要な情報を見付け、メモをすることができるが相手に簡潔に内容を伝えることが苦手である。</li></ul>
E児 (6年)	<ul style="list-style-type: none"><li>・グループの話合いで、自分の意見を言ったり相手の意見を聞き入れたりすることができるが、進んで話をまとめることが苦手である。</li><li>・活動に見通しをもって、活動することができる。</li><li>・パソコンや本を使って、自分に必要な情報を見付け、メモをしたり相手に伝えたりすることができる。</li></ul>
F児 (6年)	<ul style="list-style-type: none"><li>・物事に対して、自分の意見をもつことはできるが、理由を答えることは難しい。グループの話合いでは、教師や友達に意見を聞かれると答えることができる。</li><li>・活動を理解することに教師の支援を必要とし、自分で見通しをもって取り組むことができない。</li><li>・パソコンや本を使って自分に必要な情報を見付けることが難しい。</li></ul>

## 単元の指導について

「つかむ・見通す」段階では、「お誕生会をひらこう」の単元で学習してきたことを振り返り、みんなで開く「お月見パーティ」の見通しをもたせたい。また、お月見に関する写真や話をするのでイメージをもたせ、関心や意欲を高めたい。

「追究する」段階では、インターネットや本を活用して情報を得たり、グループで話し合っ物事を決めたり、買い物学習をしたりする中で、判断力や実践力を身に付ける授業を仕組みたい。さらに、集団の中で友達と協力して活動に取り組むことで、そのよさややりがいも感じさせたい。「お月見パーティ」では、一人一人が自分の役割に責任をもって取り組み、自分たちでできたという達成感を味わわせたい。また、日頃からお世話になっている先生方を招待することで、意欲を高めたい。

「まとめる・広げる」段階では、分かったことやできるようになったことをカードに書かせ、単元を通した学びの実感をもたせたい。

また、学習全体を通して、意欲の持続や目標を意識して活動に向かうことを目指して、個々の目標となる「ミッション」をクリアしていくと完成していく、パーティで飾る掲示物を設定した。1単位時間の終末にミッションの達成度を「お月見カード」で視覚的に表すことにより、自分たちの頑張りがより楽しいパーティにつながることを感じ、進んで活動に取り組ませたい。

## 子どもの深い学びの姿

A 児 (5年)	自分の考えと友達の意見を比べて話し合いをし、自分から進んで活動したりしている。
B 児 (5年)	教師の促しで活動に参加したり、友達の考えを聞いたりしている。
C 児 (6年)	困ったときには教師に聞きながら、考えを相手に伝えたり、自分の仕事に取り組んだりしている。
D 児 (6年)	グループの友達と話し合っ意見をまとめたり、友達の考えを聞きながら活動したりしている。
E 児 (6年)	グループの友達と話し合っ意見をまとめたり、周りに声を掛けて活動したりしている。
F 児 (6年)	視覚的教材を見ながら自分の意見をもったり、自分から活動したりしている。

次	時	○おもな学習活動 ・ 具体的内容 <input type="checkbox"/> まとめ	◇指導の手立て ■アクティブラーニングにつながる思考スキル
つかむ・見通す	①	<p>○「お月見パーティ」を開こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お月見」について詳しく知る。</li> <li>・「お月見パーティ」の実施を決める。</li> <li>・今までの「お誕生会」を振り返る。</li> </ul> <p><b>みんなで計画・準備をして、「お月見パーティ」を成功させよう！</b></p>	<p>◇「お月見」について、写真を提示したりクイズを出したりして、児童の関心を高めさせる。</p> <p>◇これまでの「お誕生会」の写真を提示し、経験してきたことを思い出させる。</p> <p>■<b>見つける</b>～学習の流れをイメージさせることで、「お月見パーティ」に対する意欲を高める。</p> <p><b>思考を活性化させるアクティフ化ポイント①</b> これまでの学習を振り返り、今後の学習と比較して考えることで、学習の見通しをもつことができる。</p>
	② 本時	<p>○「お月見パーティ」の学習計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日までの見通しをもつ。</li> <li>・どんな準備が必要かをグループで話し合い、交流する。</li> <li>・「先生方を招待し、一緒に楽しもう」という気持ちをもつ。</li> </ul> <p>計画を立てて準備していくことで、お月見パーティが成功しそうだね！</p>	<p>◇これまでの「お誕生会」の経験を参考にできるように、写真を掲示しておく。</p> <p>◇「お月見パーティ」の流れをイメージしやすくするため、短冊を活用する。</p> <p>■<b>対話する</b>～友達とのやりとりを通じて、よりよい学習計画を考える。</p> <p><b>思考を活性化させるアクティフ化ポイント②</b> 自分の考えを短冊に書き、思考を視覚化することで、進んで話し合いに参加できる。</p>
追究する	③	<p>○おだんご作りについて調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作り方について、グループに分かれて調べる。</li> <li>・おだんご作りに必要な物を決める。(買い物計画①)</li> </ul>	<p>◇インターネットや本を利用する。</p> <p>■<b>比べる</b>～材料や作り方について調べ、よりよいレシピを選ぶ。</p>
	④ ⑤	<p>○お月見の飾りを調べて作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飾りの作り方を調べる。</li> <li>・飾りに必要な物を決める。(買い物計画②)</li> <li>・飾りを作る。</li> </ul>	<p>◇インターネットや本を利用する。</p> <p>■<b>見つける</b>～飾りの手順を理解して作る。</p>
	⑥ ⑦	<p>○買い物に行こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な物を買う担当を決める。</li> <li>・スーパーなどに買い物に行く。</li> </ul>	<p>◇買い物に行く前に、値段と売り場を確認して、見通しをもたせる。</p> <p>◇自分の担当の物を買うことができるように、必要に応じて声掛けをする。</p> <p>■<b>つなげる</b>～今までの買い物学習の経験を生かし、売り場を見付けたり商品を選んだりすることができる。</p>
	⑧	<p>○招待状を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・招待状の書き方を知り、一人一枚書く。</li> </ul>	<p>◇招待状の内容や作り方にイメージをもたせてから、活動に取り組みさせる。</p> <p>■<b>対話する</b>～招待したい先生に招待状を書く。</p> <p><b>思考を活性化させるアクティフ化ポイント③</b> 先生方を招待するための招待状をつくることで、相手意識をもつことができる。</p>

	<p>○教室を飾り付けよう。</p> <p>⑨ ○「お月見パーティ」を開こう。</p> <p>⑩ ・招待状を渡した先生をもてなす。</p> <p>⑪ ・プログラムに沿って、子供たちで司会進行を行う。</p>	<p>◇自分たちでできたという達成感を感じさせるために、支援を減らし、できる限り活動を見守る。</p> <p>◇時間を意識して、司会進行を行うように声掛けをする。</p> <p>■つなげる～調べてきたことや経験してきたことを基に、「お月見パーティ」を実施する。</p>
<p>まとめる・広げる</p>	<p>⑫ ○単元を通して学んだことをまとめよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・自分たちで「お月見パーティ」を開けたよ。</p> <p>・友達と話し合ったり協力したりして、計画を立てることができたよ。</p> <p>・次は違うパーティを計画してみたいな。</p> </div>	<p>◇写真やミッションカードを見ながら、活動を振り返らせる。</p> <p>■評価する～単元を通して学んだことについて、言葉や文字で表し、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>思考を活性化させるアクティブ化ポイント④</b></p> <p>写真やミッションカードを活用して、学習前と学習後の自分を比較することで、学びを実感することができる。</p> </div>

### 3 本時の学習

#### (1) 目標

これまでの経験をもとにしながら、自分の意見をもったり、友達と考えを伝え合ったりしながら、「お月見パーティ」の学習計画を立てることができる。

A 児 (5年男子)	短冊を見比べながら、意見を言うことができる。
B 児 (5年男子)	グループ活動のときに、友達の意見を聞くことができる。
C 児 (6年女子)	グループ活動のときに、短冊を見ながら自分の意見を言うことができる。
D 児 (6年女子)	友達の意見を最後まで聞き、話し合うことができる。
E 児 (6年女子)	グループ活動のときに、友達に声を掛けて意見をまとめようとする ことができる。
F 児 (6年女子)	掲示物を見ながら自分の意見を持ち、短冊に書くことができる。

#### (2) 展開【12時間扱い 2/12時間目】

	児童の活動	思考	<input type="checkbox"/> 教師の働きかけ ◆ 評価 (アクティブラーニングにつながる思考スキル) * 思考を活性化させるアクティブポイント
導入	1. 前時の学習を振り返る。 ・「お月見パーティ」を開く。 ・自分たちで計画・準備・実施をする。 ・これまでやってきた「お誕生会」の準備について振り返る。	全体	<input type="checkbox"/> 前時までの活動を想起させ、活動への意欲をもたせる。 <input type="checkbox"/> 写真や掲示物などの視覚教材で確認する。 <input type="checkbox"/> B 児が学習に向かず教室を離れた場合は、気持ちが落ち着くまで個別対応する。(T2)
	2. 本時の学習内容を知る。 友達と意見を出し合って、お月見パーティの計画表を作ろう！		
	3. ミッションカードを見て、自分のミッションを知る。	個	<input type="checkbox"/> 個人目標に応じてミッションカードを用意する。
展開	4. 「お月見パーティ」の実施に必要なことを短冊に書く。 ・おだんごのレシピ調べ ・買い物 ・飾り作り ・プログラム作り ・司会決め ・招待状作り ・リハーサル など	個	<input type="checkbox"/> これまでの「お誕生会」の活動が分かる掲示物を貼っておき、いつでも確認できるようにする。 <input type="checkbox"/> 児童ごとに短冊の色を変える。 <input type="checkbox"/> 児童の実態に合わせて、より具体的に書くよう声掛けをする。 ◆ F 児～写真や掲示物を見て、短冊を書いている。 (対話する)
	5. グループに分かれて計画表を考える。 ・短冊をもとに、話し合う ・同じ内容の短冊は1つにまとめる ・新しい考えが浮かんだときには、短冊や言葉を付け加える	グループ	* 自分の考えを短冊に書いて視覚化することで、進んで話合いに参加できる。 <input type="checkbox"/> 短冊を並べ替えながら計画表を作成することで、考えをまとめやすくする。 <input type="checkbox"/> 話合いが活性化するように、グループ編成を工夫する。

	<p>6. グループごとに、まとまった案を発表する。</p> <p>7. 出てきた案をまとめ、1つにする。</p>	全体	<p>◆A 児～短冊を見比べながら意見を言っている。</p> <p>◆B 児～友達の意見を聞いている。</p> <p>◆C 児～短冊を見ながら、自分の意見を言っている。</p> <p>◆D 児～友達が話し終わるのを待ってから、自分の意見を言っている。</p> <p>◆E 児～友達に声を掛けて意見をまとめている。</p> <p style="text-align: right;">(対話する)</p> <p><input type="checkbox"/>他のグループの発表を聞いて、自分たちと“同じところ”や“違うところ”を見付けるように声掛けする。</p> <p><input type="checkbox"/>必要なことが出てこなかった場合は、教師から提示する。</p> <p><input type="checkbox"/>全員で、計画表を確認する。</p>
終末	<p>8. ミッションカードで学習を振り返る。 ・お月見カードにポイントを貼る</p>	個	<p><input type="checkbox"/>お月見カードで頑張りを視覚化する。</p>
	<p>9. 学習のまとめを行い、次時の見通しをもつ。</p>	全体	<p><input type="checkbox"/>次時の予告をして「パーティ」への期待感をもたせる。</p>

**友達と意見を出し合って、計画表を作ることができたね！**

### (3) 評価

A 児 (5年)	短冊を見比べながら、意見を言っている。
B 児 (5年)	グループ活動のときに、友達の意見を聞いている。
C 児 (6年)	グループ活動のときに、短冊を見ながら自分の意見を伝えている。
D 児 (6年)	友達の意見を最後まで聞き、話し合っている。
E 児 (6年)	グループ活動のときに、友達に声を掛けてまとめようとしている。
F 児 (6年)	掲示物を見ながら自分の意見を持ち、短冊に書いている。